

学校支援

令和2年9月30日 NO.6

発行：北広島市学校支援地域本部
連絡先：北広島市教育委員会社会教育課内
TEL 372-3311(内線4847)
Fax372-4525
学校支援コーディネーター
伊藤 登喜子

福祉の学習「車いす体験」

【西の里小学校】

～車いすの人の気持ちになって～



体育館で段差、車いす操作の練習



学校廊下・トイレ



学校の外スロープ

9月3日(木)4日(金)西の里小学校5年生の総合的な学習の時間に、車いす体験授業が行われました。

西の里小学校では、社会福祉協議会、北広島北高齢者支援センター、聖芳園デイサービスセンター、特別養護老人ホーム聖芳園、聖芳園事務、聖芳園居宅介護支援ステーション、西の里恵仁会病院、北海道リハビリ、(株)マルベリーさわやかセンター恵庭、支援センター実習生と約20名の方々を招聘して実施されました。

地域の関係機関の方々の指導のもとで体育館、トイレ、屋外等でいろいろな状況での車いすの使い方などを体験しました。

福祉の学習「アイマスク体験&手話体験」 ～目の不自由な方、耳の不自由な方の気持ちになって～

【西部小学校】

アイマスク体験



9月11日（金）西部小学校5年生の総合的な学習の時間に、福祉学習 NO.1 として「アイマスク体験学習」が行われました。当日は北広島ガイドヘルパーの会「アイ」、北広島社会福祉協議会の方々からお指導を受けました。二人一組でアイマスクを着用する人と介助する人に分かれ、体育館で机の間を通る細い道では、介助の人の手首をもって誘導する体験や、マットを使って、足場の悪い段差や坂道の上下りの歩行、椅子の座り方などを体験しました。その後、外に出て、道路や階段等の歩行など役割を交代しながら、2時間にわたって体験しました。

北広島ガイドヘルパー「アイ」の代表の大西さんより、「視覚障がい者と接する時は『伝える!』という事が一番大切です。」とお話がありました。

聴覚障がいの方の講話：手話体験



9月24日（木）西部小学校5年生の総合的な学習の時間に、福祉学習 NO.2 として「聴覚障がい者の講話：手話体験」の学習が行われました。当日は、障がい者生活支援センターみらい ピア・カウンセラーの村木 絹子さんと、北広島市専任手話通訳者 武田 美代子さんを招聘して実施されました。前半は聴覚障がいの方の生活についてお話を聞き、後半は手話体験をしました。手話体験では、ゆび文字で五十音を勉強してから、自分の名前をそれぞれに表をみて練習し、その後自信のある人が前に出て、村木さんに自己紹介を手話で行いました。

一生懸命に、自分の名前のゆび文字を練習していました。